



2017
誰でもエンジョイ耐久

小さなBikeの大きなお祭り!

DE耐!



TWIN RING
MOTEGI



5.6sat.&7sun.

2017 年 4 月 19 日

DE 耐! 事務局

給油方法のご案内

◎レース中における燃料補給方法のご案内

1. 決勝レース中の燃料補給はパドック内のガソリンスタンドにて行われ、1 回の給油量は最大 3 リットルに制限されます。
2. 燃料補給エリアとは、燃料補給の為に使用されるパドックの導線のことで、給油エリアの入口から出口までは、時間により管理され、その間は車両のエンジンが停止された状態で、ライダーもしくは登録されたピットクルー（最大 3 名）が車両を押して移動するものとします。
3. 上記 2 の時間管理は 10 分間に設定されますが、一度に多くの台数が集中した場合は給油に時間設定された時間より長くなることも予想されます。この給油に関する内容についての抗議は受け付けられません。
- 4 レース中の燃料補給手順
レース中の燃料補給については、以下のとおり行なってください。
燃料補給エリアは、決勝中燃料補給順路図①～③までの区間です。
 - a) ピットロード進入後、燃料補給エリアに入る車両は後続車に対して手を挙げるなど判りやすい合図を出してください。
 - b) 燃料補給エリアに入る車両は、図①の「燃料補給エリア入口ライン」にて一旦停止し、自車両の燃料補給エリア退出可能時刻が記入されたタイムカードを係員から受け取ってください。受け取ったタイムカードは燃料補給エリアを出るまで各自の責任のもとに管理してください。
 - c) 燃料補給エリア退出時刻の目安が記入されたタイムカードを受け取った後、③の出口ラインを越えようとする時までライダーは、給油順路図内にあるライダー休憩テント内にて、休憩することができます。
 - d) 図①～③の全区間においては、車両のエンジンが停止された状態で、ライダーもしくは登録されたピットクルーが車両を押して移動してください。
 - e) 図②のラインにて一旦停止し、燃料補給チケットを給油所の係員に渡してください。
チケットの半券と引き換えに、係員がガソリン 3 リットルの入った主催者指定の携行缶を渡します。携行缶を受け取ったら、係員の指示を受けて給油所に進んでください。（燃料給油チケットは参加受付の際にご購入ください。）
 - f) 係員の指示に従い給油所に進入し、車両を倒れないようにしっかりと支持した状態で燃料補給作業を開始してください。
 - g) 主催者指定の携行缶に 3 リットルを給油するのは、主催者が選任した給油担当者となります。また、給油担当者が給油した給油量に関する抗議は一切受け付けられません。
 - h) 燃料補給作業は以下の手順にて行ってください。
 - (1) 車両の燃料タンクの給油口を開ける。
 - (2) 給油する。（最大 3 リットル）
 - (3) 給油口を閉める。
 - (4) こぼれた燃料を拭き取る。
 - (5) 給油所内指定の場所に空になった主催者指定携行缶を戻す。
 - (6) 主催者指定の携行缶の中に燃料が余ってしまった場合は、各チーム持参の携行缶に余り分を移す事ができます。必要なチームは空の状態では給油所に自前の携行缶を持ち込み、係員のチェックを受けるようにしてください。
余ったガソリンを入れた携行缶は給油所内の指定の場所に保管する事ができ、8 回目以降のピットイン時に限り余りのガソリンを給油し走行することができますが、周回数にはカウントされません。（この場合の給油も最大 3 リットルまでとします。）

（裏面に続く）



2017
誰でもエンジョイ耐久

小さなBikeの大きなお祭り!

DE耐!



TWIN RING
MOTEGI



5.6sat.&7sun.

i) 手押しにて給油所から移動してください。

j) ライダーは各自の責任においてピットロードに進入してください。燃料補給エリア出口を通過する車両は、図③のライン手前にてライダーもしくは、登録されたピットクルーが自ら時間を確認後タイムレコーダーで打刻し、タイムカードを係員に渡し、その後、エンジンを始動して下さい。また、45 番ピット脇からピットレーンに進入する際は、一旦停止してピットレーン入口方向から進入してくる車両に気をつけてください。

5. 燃料補給エリア内での遵守事項

- a) 燃料補給エリア入口（図①）通過から出口（図③）通過まで、最低 10 分間とどまらなければなりません。
- b) 燃料補給エリア内での、燃料補給以外の一切の作業（ライダー交代も含む）は禁止いたします。ただし、係員により許可された場合はこの限りではありません。
- c) 給油順路内での追越しは原則として禁止ですが、燃料補給エリア内の係員から指示がある場合はこの限りではありません。
- d) 車両が停車するまでは燃料タンクの給油キャップ・カバーを外すことは禁止です。
- f) 一連の給油作業を行う際は、車両はしっかりと支持されていなければなりません。
- g) 燃料補給エリア内で車両を手押しできるのは、登録されたライダー若しくは登録されたピットクルー（監督、メカニック、ヘルパー）のみとします。
- h) 時間調整のため待機する車両は、後続車の進路を妨害してはならない。待機する場合は、通路の左側に車両を寄せて停車してください。
- i) 燃料補給エリア内に滞在する間は、ライダーはヘルメット並びにグローブを脱いで移動・休憩することができます。
- j) ピットクルーは、必ずかかとの固定された履物を履いてください。

6. リペアエリアについて（給油順路図内の※ 1）

- a) 救済処置で回収された車両（転倒、ガス欠）の内、給油を希望する車両はパークフェルメより給油経路に進入してください。
- b) 救済処置で回収された車両の内、移動が困難な車両、燃料補給が困難な車両については、リペアエリア（給油順路図参照）で修理を行う。修理が完了した後、移動し給油を行う。
- c) 給油を希望しない車両はそのままピットレーンを移動しチームのピットへ移動可能である。但し、チームのピットへ移動後、ピットレーンを押し戻して給油経路に進入することはできません。
- d) 救済を受けたライダーがメディカル等に搬送された場合、車両は登録されたピットクルーによりピットレーンを移動しチームのピットより他のライダーが出走する事ができます。また、燃料補給が必要な場合は、ライダーを除くピットクルーによって行ってください。

7. 給油経路への進入可能時刻

給油経路へはスタート後に進入可能となります。

以上